

## ■英国の新しい左翼政党に関するジェレミー・コービンの見解

### ●インタビュー

#### [ジェレミー・コービン](#)

キア・スターマーの労働党政権は、政権発足から 1 年間で悲惨な結果に終わりました。社会主義指導者のジェレミー・コービン氏はインタビューで、労働者階級に力を与える新しい左翼政党を設立すべき理由について説明しています。

元労働党党首のジェレミー・コービン氏は、英国の左派「新党」の形成において重要な人物である。(Lorne Thomson / Redferns via Getty Images)

### ●インタビューアー

#### [マーカス・バーネット](#)

ここ数週間、元労働党議員ザラ・スルタナ氏が、労働党の左派政党の設立を突然発表し、労働党のキア・スターマー氏のガザでのジェノサイドと緊縮政策支持に反対する政治勢力を応援したいと切望する英国中の何百万人もの人々から熱狂的な歓迎を受けました。

この記事の執筆時点で、65 万人以上が同党の黨員になる可能性のある登録を行っています。そして、通常、洞察力に欠けるメディアの意見とは対照的に、この発表は、2022 年以来「主流」の政治議論から強制的に排除されてきたことを痛感している英国の左派の間で、活発な議論を巻き起こしています。

先週、*トリビューン*副編集長のマーカス・バーネットは、「新党」の設立に重要な役割を果たしている元労働党党首のジェレミー・コービン氏と会い、改革派から主導権を奪うこと、大衆の選挙権剥奪の指針、「幅広い連合」の広さの程度、コミュニティ組織化、みどりの党の問題、そして労働党に対する左翼の選挙挑戦に関して過去の過ちを繰り返さない方法など、さまざまな意見について話し合いました。



●**マーカス・バーネット** 新しい左翼政党の設立により、何千人もの人々が、自国と世界をより良い場所にしたいという希望を再び抱くようになりました。この参加者の数から、政治的な権利の剥奪の規模についてどのようなことが言えると思いますか？

●ジェレミー・コービン 65万人もの人々が新しいプロジェクトに参加するのは理由がないわけではありません。彼らは我慢の限界に達したからです。彼らは、富裕層がますます豊かになる一方で自分たちが貧しくなることに耐えられなくなったのです。水道料金が上昇する一方で、破裂したパイプや海に流れ込む下水に直面していることに耐えられなくなったのです。彼らは、障害者が尊厳を持って生活するための十分な支援を確保するといった基本的な要求を無視されることに耐えられなくなったのです。彼らは、自分たちの日常生活に影響を与える決定から排除されていることにうんざりしている。

現在の社会が直面する問題を見てみましょう:フードバンクは数千人の人々の生活の一部となっています。民間賃貸住宅の入居者は、手取り収入の半分以上を家賃に費やしています。あらゆる年齢層の人々が深刻なストレスに直面しています。政府が変化を約束して政権に就き、何も変わらない場合、何かが破綻します。これらの問題は新しいものではありません。歴代の政府はこれらに対処することを拒否してきました。その結果は避けられません—彼らは自らが蒔いた種を刈り取ることになるでしょう。

党のウェブサイトを発表した瞬間は、ダムが決壊するのを目撃するようなものでした。真の選択肢を否定されてきた人々が、突然参加するべきものを見つけたのです。彼らは希望を持つ理由を得たのです。私たちは、平等と平和の基礎原則に基づいた、比較的骨組みだけの政治ビジョンを提示しました。公有制、資産税、地方自治体の住宅投資、パレスチナ支援を含む内容です。より詳細なビジョンを提示する必要はありませんでした。それはメンバーが決定するからです。しかし、人々は私たちが目指す方向性を見ることができたからです。それは、彼らが長年奪われてきた方向性—富と権力を再分配する方向性—でした。

●マークス・バーネット 加入している人々のタイプについて、何か感じていますか？

●ジェレミー・コービン 予想通り、ロンドン、リバプール、マンチェスター、ニューカッスルなどの大都市で多くの加入者が集まっています。しかし、私が驚いたのは、地域や国全体で支持が広く分散し、バランスが取れている点です。支持はロンドン、北西部、ヨークシャーとハンバー地域で最も強く、しかし広範囲に及んでいます—外へはブリディーズ諸島まで及んでいます。

▼私たちは、陳腐化した二大政党制によって声を奪われてきた人々に居場所を提供する新しい種類の政党を築いています。

これは、私たちが直面する問題が根本的で、全国民に影響を及ぼしていることを示しています: 貧困、賃金低下、ストレス、公共サービスの衰退、社会的孤立の拡大です。

私のもとを訪れて「登録した」と語る人々の多くは、明らかに長い間待っていたようです。彼らは興奮しており、ほとんどじっとしていられない様子です。しかし何よりも、彼らは希望に満ちています。また、これまで政治にほとんど関わったことがない人々からも声をかけられています。

これは、昨年私たちの選挙キャンペーン中に経験した反応と似ています。私たちは、古い二大政党制によって声を奪われてきた人々に居場所を提供する新しい種類の政党を築いています。

●**マークス・バーネット** 「じっとしてられない」という言葉はまさに適切です – あなたが労働党から除名されて以来、あなたとあなたの原則を掲げた新しい政治勢力の結成を求める声は一貫して高まっています。この発表は、5年近く前に労働党右派があなたに対して行った攻撃から始まった、非常に長いプロセスの終焉のように感じられます。この状況に至るまでの経緯を教えてください。

●**ジェレミー・コービン** 長年にわたり、この国には新しい政治的な声が必要だと提案する、多くの良き同志たちが私に声をかけてきました。

私は、労働党議員団から除名された後も、地方労働党員としての民主的権利を主張したいと考える多くの同志の支援を受け、労働党員および一般議員としての活動を続けてきました。キア・スターマーは、ついに私の労働党候補としての立候補を禁止しました。これは、地方民主主義に対する恥ずべき攻撃でした。私は、決定は国民がすべきだと考えていました。そのため、私は無所属候補として立候補しました。

政党を設立する前に無所属で選挙に勝利したことは、歴史的に重要な意味を持つと思います。イズリントン・ノースでの勝利は、私たちのコミュニティだけでなく、その外の人々にとっても重要だと感じました。比較的短い期間で事前に新しい政党を設立した場合、私は全国を飛び回らなければならない、地元の選挙運動に多大な費用がかかったでしょう。

選挙キャンペーン中に、近い将来に新たな声が必要であることがより明確になりました。全国から、政治に関わったことのない多くの人々が、突然私たちのキャンペーンに参加したいと申し出たことに驚かされました。私にとって、これは真の政治的代替案に対する支持のレベルを示すものでした。

選挙後、新たな政治党派を求める声はますます高まり、広まっています。多くの人々と議論を重ねる中で、新たな党派が単に可能であるだけでなく、根本的に必要不可欠であることがますます明確になってきました。

明確に言います。：労働党は、約束した変化をもたらすことに完全に失敗しました—2人目以降の子どもへの手当の廃止拒否、障害手当の廃止、WASPI女性への裏切り、冬の燃料手当の削減、そしてパレスチナ人虐殺への残虐な共謀など、あらゆる点においてです。

現在、私たちはスターマーの労働党が「改革派」政権への道を開いている状況に直面しています。イギリス政治は重大な分岐点に立っています—だからこそ、私たちは新たな政治党派を設立することを決意したのです。平等、包摂、平和の社会で生きるためには、不平等、分断、戦争の社会ではなく、代替案を提示する必要があります。

●**マークス・バーネット** 完全に新しい構造を築くという意識的な決断がありました。その背景には何があるのでしょうか？ トップダウン型の政党に予見される問題が関係しているのでしょうか？ それとも、労働党での経験、あるいはその指導者としての経験に基づいているのでしょうか？

●**ジェレミー・コービン** 過去 40 年間、議会で私は、私たちの政治システムが完全に機能不全に陥っている理由を直接目撃してきました。

その理由の一つは、政治党派の構造です。それらはトップダウン型で中央集権的かつ官僚的です。労働党の党首だった当時、私はコミュニティ組織化ユニット (COU) を支援する際に、巨大な反対に直面しました。その基本理念は、地域コミュニティが直面する問題を最もよく理解しているからこそ、自ら組織化できるようにすることでした。

これは信頼を育み、党がコミュニティに根付くことで、はるかに大きな選挙勝利をもたらします。2019 年の選挙では、COU が存在した選挙区での得票率がより高かったです。もし、その導入を遅らせた官僚的な妨害がなければ、より大きな影響を及ぼしたでしょう。

現在の労働党を見ると、議員たちが代表すべき人々を恐れているかのようです。中央集権的な政党になると、公共サービスの民営化、イラク侵攻、緊縮政策のような悪い政策や決定が生まれます。

▼**政治はエンパワメントが目的であるべきです—それが私がこの党に望むものです。**

それが私たちが異なることを試みた理由です。政治は権限付与についてであるべきです—それが私がこの党が目指すものです。開かれた、包摂的な、草の根ベースの、民主的な党です。私たちのメディアの多くは、一般市民が党の未来を形作るというアイデアを理解するのに苦労しました。65 万人が参加した人々にとって、それはそれほど難しいことではありませんでした。

年末までに、党の方針と理念を決定する初の大会を開催したいと考えています。しかし、この大会は突然現れるものではありません。これは、全国で実施される一連の議論の会議の成果として生まれるものです。これらの会議は単なる集会ではなく、地域社会、社会運動、労働組合が、党と国の未来に直面する重要な課題について議論する機会となります。これらの会議では激しい議論が交わされるでしょう。それが良いのです。それが民主主義の役割です。

●**マークス・バーネット** この文脈で「民主的な組織」とは具体的に何を意味するのでしょうか？ 党は住宅問題や反戦運動などの広範な社会運動とどのように関わるべきでしょうか？

●**ジェレミー・コービン** 私は最近の記事で、政党が犯す最大の過ちの一つは、議会と他の行動形態のどちらかを選ばなければならないと考えることだと書きました。私たちはあらゆる場所で組織化する必要があります: 地域社会、議会、職場、そしてコミュニティ。それが民主的政党の

力です:それは、議会の議員にロビー活動を行うように訓練された人々ではなく、一般市民が優先事項を形作る力を与えることができます。それが、社会全体でキャンペーンを結びつける方法です。

過去1年間の政治を振り返ると、一部の人は労働党の失敗が特徴的だと指摘するでしょう。私は少し異なる見方をしています。それは、労働組合、賃貸人組合、障害者の権利擁護団体、反差別活動家、気候変動活動家、平和活動家など、運動の驚くべき成長によって特徴付けられています。これらの団体は単独では限られた成果しか上げられません。もし彼らが力を与えられれば、共に何ができるかを考えてみてください。

●**マークス・バーネット** さまざまな労働組合の動向を調査すると、伝統的に労働党の左派やさらに右派に強く結びついている多くの組合役員や上級幹部たちが、新しいプロジェクトに対して真の関心を示しています。

●**ジェレミー・コービン** 私は労働組合の幹部やリーダー、メンバーと定期的に話しています。この政府が取った方向性に対する広範な不満が明確に存在しています。私は、私たちの新しい党が全国で労働組合と社会運動と協力して働くことを望んでいます。私は個人的に、あらゆる種類の労働組合と協力することを非常に嬉しく思っています。

また、特にギグ経済で組織化できなかった労働者を支援することも重要です。今年初めに、イザリンガム・ノースでギグ経済に焦点を当てた素晴らしい「人民フォーラム」を開催しました。労働者が団結した力として行動することで真の改善がもたらされるという認識が共有されました。

▼**私は労働組合の幹部、リーダー、メンバーと定期的に話し合っています。この政府の進路に対する広範な不満が明確に示されています。**

労働組合運動を、平和運動など他の運動の一部として分離して捉えてはなりません。私はアメリカから来たアマゾン労働者の組織化に携わるクリス・スモールズ氏と会う機会がありました。彼は最近、ガザへのフリーダム・フロティアに参加しました。彼は、労働者のためのキャンペーンとパレスチナのためのキャンペーンのどちらかを選ぶ必要はないことを示しています。両方を同時に進める必要があります！

●**マークス・バーネット** 同様の質問ですが、連合が広すぎると言えるのはいつでしょうか？どのような矛盾が浮上しており、それらを克服する方法はありますか？

●**ジェレミー・コービン** 私は独立系の同僚たちとよく協力しています。主にガザでのジェノサイドに反対する統一された声としてです。彼らは、議会にパレスチナ人民のために恥じることなく立ち上がる議員がいることを知る人々にとって、多くの希望を提供してきました。私たちは常にすべての点で一致するわけではありませんが、第二子目手当の削減、冬季燃料手当の削減、

障害手当の削減、イスラエルへの武器輸出など、多様な問題において明確な反対を表明してきました。

私は民主主義を通じた団結の力に信じています。そうです、この新しい政党は意見の相違や分裂を生むでしょう。それらをオープンかつ正直に認め、民主的な機関を通じて建設的かつ生産的な方法で解決していく必要があります。私たちは、意見の多様性を認めつつも、すべての人々の人権と尊厳を守る運動を築く必要があります。私たちは、あらゆる形態の抑圧と偏見に対して団結しなければなりません—それが私たちの立場です。

●**マーカス・バーネット** SLP (社会主義労働党) からリスペクトまで、あらゆる教訓を踏まえ、人格崇拜や党内派閥闘争に起因する通常の危機を乗り越えて、左派政党が生き残るためにはどうすべきだとお考えですか？

**ジェレミー・コービン** この党は開かれた、包摂的な、草の根の党でなければなりません。構造は、私たちの支持の広範な地理的性質を何らかの形で反映し、地域コミュニティが下から変化をもたらす力を与える必要があります。私が望まないのは、全国委員会の人事争いが終わらないことです。

党を結束させる方法は、子どもの貧困、人権、平和といった根本的な問題とキャンペーンに固執することです。なぜ私たちはこれを行っているのかを思い出しましょう: 富と権力を再分配して社会を変革するためです。これは私たち活動家についてではありません。これは、より良い生活に値する数百万の人々についてです。貧困の中で生きる子どもたちについてです。パレスチナの人々についてです。それは私たちではなく、彼らについてです。

●**マーカス・バーネット** みどりの党との提携についてはどうお考えですか？

●**ジェレミー・コービン** この新党は、気候の正義は社会正義であるという信念に基づき、環境問題について非常に強い姿勢を示すでしょう。みどりの党とは、環境問題はもちろんのこと、平和や人権の問題についても、協力できる分野では協力していきたいと思っています。私は、同じ考えを持つ個人や団体との協力には常にオープンです。協力は私たちをすべて強くするからです。

私は多くのみどりの黨員を知っており、議会ではみどりの党の議員たちとよく協力しており、できることは協力してきました。それは、障害者手当の削減など、いくつかの問題に対する野党の同盟構築に役立っています。また、ザック・ポランスキー氏とともに多くの問題についてキャンペーンを行い、多くの反緊縮政策のプラットフォームと一緒に登場してきました。

[Tribune magazine](#) から転載。

この記事を共有する

FacebookTwitter[Eメール](#)

## 寄稿者

ジェレミー・コービンJeremy Corbynは、イズリントン・ノースの無所属議員です。

マーカス・バーネットMarcus Burnettは、ヤング・レイバー（労働党青年部）の国際担当役員であり、*Tribune* の副編集長です。